

2024(令和6)年 10月4日

報道関係者 各位

松 山 大 学
(全 4 枚送信)

市民と学生とともに、「海運王国」愛媛で地元の将来を考える
M汽船寄附講座(公開講義) 海事経済論 今年も開講
海運業界の第一線で活躍する講師によるリレー形式 本学樋又キャンパスにて

松山大学では、2024年9月25日(水)から2025年1月22日(水)の期間中、15回にわたり、M汽船寄附講座「海事経済論 ～世界の経済を担う愛媛の海運産業～」を開講いたします。

この講座は2009(平成21)年度から、国際物流を担う造船業や海運業の集積地域となるこの「海運王国」愛媛で、国際貿易を支える海運産業の実態と将来について理解を深めていただくことを目的に、県内の海運会社様からの寄附をもとに経済学部特殊講義として後期に開講しており、本年度で16回目となります。

今年も講義テーマごとに第一線でご活躍の方々を講師として招聘するリレー形式により行われます。第3回となる今回は、日本郵船株式会社調査グループ グループ長 林 浩一郎(はやし こういちろう)氏による「日本の国際海運業」を開講いたします。また本講座の特徴として、本学経済学部学生のほか、事前にお申し込みいただいた市民の皆さまも聴講が可能です。ぜひ、ご取材ください。

2024年度 M 汽船寄附講座(公開講義) 海事経済論 概要

日 時：2024年9月25日(水)から2025年1月22日(水)

全15回 12時30分～14時

参 加 者：経済学部学生・人文学部学生・市民

受 講 料：無料

定 員：100名(先着順)

主 催：松山大学経済学部 協力：一般社団法人 日本船主協会



昨年度の講義の様子

第3回講義概要

日 時：2024年10月9日(水) 12時30分～14時

会 場：松山大学 樋又キャンパス 2階 H2A 教室

題 目：第3回「日本の国際海運業」

論 者：日本郵船株式会社 調査グループ グループ長 林 浩一郎(はやし こういちろう)氏

略 歴：

日本郵船という外航海運・総合物流企業で事業環境調査・競合調査を担当。

1991年に新卒で日本郵船に入社し、コンテナ船やバルカーの事業部門、米国拠点でのシステム開発を経験後、R&D子会社で物流のRFIDユースケースの調査、2011年から調査部門でアナリストを担当し、2022年から現職。

アナリストとしての業務を学術的に裏付けたいと社会人学生として大学院に通い、2008年にNew York Universityで「テロ対策の観点からの物流企業のRFID導入」をテーマに修士号を、2023年に東京海洋大学で「バルカー運賃の循環的変動の分析」をテーマに博士号を、それぞれ取得。現在も業務のかたわら学会発表や大学での講義を続けている。

日本海運集会所 雑誌「KAIUN」編集委員長、Journal of Shipping and Trade 編集委員、日本海運経済学会評議員。

【実施会場】

※取材をご希望の場合は事前に下記問い合わせ先にご連絡ください。

※駐車場の利用をご希望の場合は申し込み時にお申し出ください。



第16回

海事経済論



世界経済を担う 愛媛の海運産業

愛媛は、国際物流を担う造船業や海運業の集積地域です。
この「海運王国」愛媛で、国際貿易を支える海運産業の実態と将来について
理解を深めていただくことを目的に、M汽船寄附講座「海事経済論」を開講します。

開講期間

2024年9月25日(水) ▶ 2025年1月22日(水)

※毎週水曜日 12:30~14:00(3時限目)

場 所

松山大学 樋又キャンパス 2階 H2A教室

※駐車場はありませんので公共交通機関をご利用ください。

受講料

無料

定 員

100名(先着順)

主催:松山大学経済学部

協力:(一社)日本船主協会

問い合わせ先

松山大学教務部教務課

Tel.089-926-7137

E-mail:mu-kyomu@matsuyama-u.jp

※詳細は裏面をご参照ください。

講義日程 及び 受講申込書

講義日程

会場 松山大学 樋又キャンパス2階 H2A教室

時間 毎週水曜日3時限目12:30～14:00

回	講義日	講 義 テ ー マ	担 当 者
1	9/25(水)	造船業と国際海運業—産業連関分析の視点—	松山大学 経済学部 安田 俊一
2	10/ 2(水)	外航海運の概要	一般社団法人日本船主協会 常務理事 広報室長 松本 隆司氏※
3	10/ 9(水)	日本の国際海運業	日本郵船株式会社 調査グループ グループ長 林 光一郎氏※
4	10/16(水)	愛媛の国際海運業の発達と現状	株式会社愛媛銀行 (株式会社西瀬戸マリンパートナーズ アドバイザー) 日野 満氏
5	10/23(水)	タンカー:エネルギーの主力「石油」の国際物流(その1)—原油輸送を中心に	太陽石油株式会社 国際原料部長 脇 隆人氏
6	10/30(水)	タンカー:エネルギーの主力「石油」の国際物流(その2)—その多様性について	株式会社商船三井 カボン/リユージョン事業部 タンカー課 船中・エグゼクティブ コーディネーター 塩崎 彩香氏※
7	11/ 6(水)	LNG船:「液化天然ガス」の国際物流	株式会社商船三井 エネルギー営業戦略部 BI・戦略企画チームリーダー 中村 恵美子氏※
8	11/13(水)	自動車専用船事業の歴史と今日の概況	川崎汽船株式会社 自動車船安全輸送グループ 運輸チーム チーム長 市川 正光氏※
9	11/20(水)	大型バルク・キャリア:「鉄鉱石・石炭・穀物」の貿易と国際物流	日本郵船株式会社 バルク・エネルギー事業統括グループ グループ長 大塚 裕二氏※
10	12/ 4(水)	コンテナ船事業概論とこれからの展開	川崎汽船株式会社 コンテナ船事業グループ 資産管理チーム チーム長 秋好 万作氏※
11	12/11(水)	世界の中の日本・愛媛の造船業	株式会社新来島どつく 船舶営業本部 新造船営業第2部長 松浦 直樹氏
12	12/18(水)	国際物流における総合商社	三井物産株式会社 モビリティ第二本部 船舶プロジェクト部 新造船プロジェクト室長 橋本 卓氏
13	12/25(水)	松山港の利用促進について	愛媛県経済労働部産業雇用局 企業立地課 主幹 尾田 裕明氏
14	1/ 8(水)	海事産業とリスクマネジメント	東京海上日動火災保険株式会社 西日本船舶営業部長 朝来野 敦氏
15	1/22(水)	世界経済のグローバル化とアジア及び日本	松山大学 経営学部教授 松山大学 経済学部 上羽 博人 安田 俊一

○※の担当者については(一社)日本船主協会のご協力を得ています。

○講義テーマ及び担当者については、変更となる場合があります。

申し込み方法

1 メールでの申し込み

件名に「海事経済論受講申込」、本文に受講申込書の内容を入力の上、右記のアドレスに送信

E-mail : mu-kyomu@matsuyama-u.jp

2 Faxでの申し込み

受講申込書を記入の上、右記の番号に送信

Fax.089-923-8920

受講申込書 (メール・Fax 共通) ※以下の全ての項目に必ずご記入ください。

年 月 日

(フリガナ) 氏 名			
住 所	〒 -		
T E L		携帯電話	
E-mail	@		
勤務先等 (学校名)			

ご記入いただいた個人情報は、各種連絡・情報提供のために利用するほか、講座参加者のご意見を伺うために利用することがあります。